☆世界同時革命・世界革命戦争
世界プロレタリア独裁
共産主義勝利！
共産主義者同盟

2月25日
第22号
編集発行人　南　安明
一部30円
購読料　半年600円(下共)
1年1,200円(〃)

蜂起

蜂起社
発行所　蜂起社
渋谷区広尾5の16の1
北村第一ビル内
TEL 03(446)0832
(振替)東京1512

2月26日　保全共全国大会（3時・南部労政）
27日　同第一波闘争（12時清水谷公園）
28日　刑法研究会粉争闘争
3月11日　自衛隊立川移駐阻止闘争
中旬　反弾圧集会予定（詳細は蜂起社に問いあわせて下さい）

叛軍・破防法・保安処分粉砕闘争を推し進め

全てを沖縄派兵阻止へ集中せよ！

全国大会・第一波闘争に結集し保安処分を先武闘で葬り去れ！

全国の戦闘的同盟者・学生諸君！「革共」一派の裏切りを粉砕し、北ベトナムを米帝に対する一斉攻撃はいった。帝国主義の戦争の経過、世界革命情勢は、遂に赤軍派の予言通りに、米帝は日本帝国主義権力は、米ソ二極協調体制と自国の不安定政治の為に、沖縄返還協定を結び、沖縄を日本帝国主義に対応させつつ、韓国、台湾、ベトナム、タイ、ビルマ、インドネシアに対応させつつ、総会・集会を分断し、解放区を作り出し、沖縄人民の自覚を高め、革命的戦争を組織し、世界革命戦争の発火点を作り出すことを目的として、沖縄闘争を中心とする、全国大会・集会を開催する。

一、12・5結成大会の地平　踏まえ前進せよ！

12・5結成大会は、全国戦線の最前線に位置する、全国の同盟者を結集しつつ、自らの闘争を通じて、沖縄闘争を中心とする、全国的な闘争を組織し、沖縄闘争を、全国的な闘争として

2・20

首都反革命の尖兵 練馬第一師団へ

反帝戦線・軍・戒厳令体制をつきくずす

全国の同志、戦闘諸勢力、練馬第一師団の先陣を切って、反帝戦線・軍・戒厳令体制をつきくずす闘争に決起した。

■2・20首都反革命の尖兵練馬第一師団前へ■

2・20首都反革命の尖兵練馬第一師団前へ。戦士の志を受け継ぎ前進するM-L派

四次防と日帝の軍事戦略

沖縄・立川・練馬基地解体闘争を闘い 自衛隊・立川移駐を全力阻止せよ！

四次防と国会の混乱

国会は、四次防問題をめぐり、十数日にわたって審議を続けてきたが、七一年秋から四次防を実施する為の先行予算として、八〇〇億円の国債を含む八一八億円の防衛費支出案が、三月一日、衆議院で強行採決された。これに対し、日本共産党は、「四次防は、日米の軍事力増強と、アジア諸国への侵略を目的とする、戦争挑発の為の予算である」と、強く反対した。

佐藤首相は、「四次防は、ソ連の脅威に対する、専守防衛の為の予算である」と、強弁を弄した。

しかし、四次防の内容は、ソ連の脅威とは、全く関係のない、日米の軍事力増強と、アジア諸国への侵略を目的とする、戦争挑発の為の予算であることは、明らかである。

四次防は、すでに七一年度予算に組まれ、実施されている。それにもかかわらず、四次防が、国会で、問題にされ、審議されているのは、四次防が、「国会の承認を得ずに、実施されてきた」ことが、問題にされているからである。

国会は、四次防問題をめぐり、七一年秋から、七二年秋から、七三年秋に、実施される、四次防の、三段階の、先行予算案を、審議している。

四次防は、「ソ連の脅威に対する、専守防衛の為の予算である」と、強弁を弄しているが、実は、日米の軍事力増強と、アジア諸国への侵略を目的とする、戦争挑発の為の予算である。

佐藤首相は、「四次防は、